

連載第 15 回

会 員 探 訪

味の素ファインテクノ株式会社

取締役 常務執行役員 小藤 浩恭 氏



本社建物（川崎市）

調味料と言えば“味の素®”を思い浮かべる人も多いと思います。今回は、味の素株式会社のケミカル事業、電子材料事業を統合、分社化してできた味の素ファインテクノ株式会社（以下 AFT 社）を訪問し小藤取締役にお話しをお聴きしました。AFT 社は、YJC(よこはま高度実装技術コンソーシアム)の高木理事の紹介で平成 18 年に YJC 第 1 号賛助会員として入会され今日に至っています。

お話しは今から 2 年前にオープンした AFCC (AFT Future Creation Center) というイノベーション共創区間で行いました。特定の商品のお客様や素材メーカーを招き次世代の開発に向けた場とされています。味の素ゼネラルフーズ社のおいしいコーヒーのおもてなしがあります。

「YJC/YUVEC の会員の皆様も一度是非ご来訪いただき、新しいビジネスチャンスのシーズと一緒に探しませんか？」と小藤取締役は熱く語っていらっしゃいます。AFT 社の新領域開拓部もしくはインターネット（URL <https://www.aft-website.com/afcc/>）でお申し込みくださいとのことです。味の素®の派生製品として化粧品、医薬品は有名ですが、AFT 社では分子設計、配合設計、プロセス開発、ソリューション提案のコア技術を活かし、電子材料、機能材料、機能化学品、活性炭を商品化しています。特に電子材料では、味の素ビルドアップフィルム® (ABF) が有名で 1990 年代後半に大手半導体メーカーに採用されることになったことを契機に AFT 社がスタートした

そうです。ABF は、プリント配線板用層間絶縁フィルムです。半導体の進化に柔軟に対応する画期的な製品として評価されており世界中のパソコンに使用され、デファクトスタンダードの地位を確立しています。現在、ABF は、本社工場と群馬工場の 2 カ所で製造し、リスク分散を図っているとのことでした。私たちの生活の必需品であるパソコン、携帯電話には、この ABF が使われています。その影響力の大きさに自負と責任感（＝製造ラインが止まると社会に与える影響が多）を感じていらっしゃいました。



味の素ビルドアップフィルム®

AFT 社は、川崎大師の近くにありまして、今年一年の皆様のご健勝とご多幸を祈念して帰路に着きました。



インタビュー：前列左から小藤取締役、高木、後列左から太田、大竹

【編集者メモ】

社 名	味の素ファインテクノ株式会社
代表者	代表取締役 中村茂雄
従業員数	295名
事業内容	電子材料、機能材料、機能化学品、活性炭の製造・販売

(太田淑夫 記)